



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月8日

上場会社名 タピオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <https://tabio.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 勝寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 谷川 繁

TEL 06-6632-1200

四半期報告書提出予定日 2021年10月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	5,909	34.3	269		216		227	
2021年2月期第2四半期	4,400	41.2	899		723		1,249	

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 226百万円 (%) 2021年2月期第2四半期 1,253百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	33.41	
2021年2月期第2四半期	183.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	6,946	3,555	51.2
2021年2月期	7,609	3,912	51.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 3,555百万円 2021年2月期 3,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		20.00	20.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,969	30.1	204		218		131		19.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	6,813,880 株	2021年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	9,544 株	2021年2月期	15,378 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	6,801,419 株	2021年2月期2Q	6,795,597 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年3月1日～2021年8月31日）における国内経済におきましては、新型コロナウイルス感染症による、緊急事態宣言の再発出とまん延防止等重点措置の適用拡大により、商業施設や飲食店等の休業や時短営業が延長されたことが影響し、消費者の購買意欲は停滞を続けており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、オフィス勤務や街中でのショッピング・飲食等を対象とした長期間に亘る外出自粛等が求められる中、自宅や野外で活動する機会が増加したこと等により、「巣ごもり消費」のみならず、「新しいライフスタイル」を前提とした特徴や機能性を備えた商品を的確にお客様に訴求していくことが求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に变化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

また、スピード重視の社内体制を実現すべく、前期より事業部制を採用すると共に、オンラインとオフラインの融合強化を進めたOMO（Online Merges with Offline）体制の構築を行い、各ブランドの特徴を明確に打ち出すことにより、全てのお客様に選んで頂ける「世界一の靴下総合企業」を目指しております。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、ユーチューブ上での動画コンテンツ配信による商品提案やツイッター、インスタグラムを用いた『靴下屋』ブランドのファン層拡大を継続的に行うと共に、他ブランドや知名度の高いキャラクターとのコラボレーション商品の販売に加え、期間限定でのPOP UP STOREの出店等、既存顧客へのアプローチと新規顧客の取り込みに向けた施策を行って参りました。

「ショセット関連部門」における「ショセット事業」では、よりハイセンスな立地での『Tabio』店舗の出店やリニューアル、働く女性に向けた高品質で機能性の高い商品の企画・提案を行うことによって、ハイセンスで付加価値の高いブランドイメージの構築に努めて参りました。また、エリア整備の一環として、不採算店舗の退店を行うことによって、事業収益性の向上に取り組んで参りました。「紳士靴下事業」では、紳士靴下専門店の『Tabio MEN』を中心に、ファッションにこだわりを持った男性のブランド認知度を向上させ、「メンズソックス」を当グループの新たな柱となる商品にすべく、メンズ・レディース併売店の開発に向けた取り組みや、本店ECサイトでの販売強化等を行って参りました。

「海外関連部門」では、イギリス支店において、イギリス国内向けECサイトの運営体制の強化や、新販路開拓に向けた取り組みを行い、フランスの販売子会社Tabio France S.A.S.では、フランス国内向けECサイトを多言語対応させ、ヨーロッパ諸国等への展開を可能にすることによってEC事業の更なる強化に取り組んで参りました。また、北米向けのEC事業では、SNSを用いた販促活動を継続的に行う等、北米内での認知度向上に向けた取り組みを行って参りました。代理商を通じて展開を強化しております中国事業については、引き続き、一級都市を中心に出店を推進すると同時に、現地ECモールへの出店にも取り組んでおります。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店7店舗、直営店2店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店1店舗、直営店13店舗の退店により、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店102店舗（海外代理商による13店舗を含む）、直営店166店舗（海外4店舗を含む）、合計268店舗となりました。

なお、2021年4月25日に再発出された新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、4月下旬から5月上旬の間、東京都・大阪府・京都府・兵庫県で70店舗余りが休業となり、宣言の延長や対象地域が追加された5月12日以降は、大阪府や一部の東京都の店舗での休業が継続され、その他宣言対象地域等では、土日休業や時短営業を行って参りました。6月21日時点で沖縄県を除く地域で宣言解除になったものの、その後の感染症再拡大により、緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置の再適用があり、対象地域の店舗については引き続き時短営業等を続けております。なお、EC売上については堅調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,909百万円（前年同期比34.3%増）、営業損失は269百万円（前年同四半期は営業損失899百万円）、経常損失は216百万円（前年同四半期は経常損失723百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は227百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,249百万円）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高の間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産のその他108百万円増加しましたが、現金及び預金556百万円、流動資産のその他115百万円、差入保証金68百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて663百万円減少し、6,946百万円となりました。

負債については、未払法人税等28百万円増加しましたが、電子記録債務214百万円、長期借入金109百万円の減少があったこと等により、前連結会計年度末と比べて307百万円減少し、3,390百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて356百万円減少し、3,555百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.4%から51.2%に減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ556百万円減少し、1,957百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失222百万円、仕入債務の増減額△211百万円ありましたが、減価償却費103百万円、法人税等の支払額又は還付額60百万円、未払消費税等の増減額56百万円の計上があったこと等により、△199百万円（前年同期比より546百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出54百万円、有形固定資産の除却による支出35百万円、無形固定資産の取得による支出26百万円ありましたが、その他の収入85百万円の計上があったこと等により、△31百万円（前年同期比より63百万円の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額135百万円、長期借入金の返済による支出111百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出79百万円の計上があったこと等により、△326百万円（前年同期比より1,085百万円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期における通期の連結業績予想については、2021年4月9日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,514,128	1,957,632
売掛金	603,314	542,014
商品	640,662	697,472
貯蔵品	482	453
その他	312,456	197,157
貸倒引当金	△449	△1,040
流動資産合計	4,070,595	3,393,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	603,814	605,839
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	200,253	308,613
有形固定資産合計	1,986,722	2,097,108
無形固定資産		
投資その他の資産	329,370	301,642
投資その他の資産		
差入保証金	1,180,516	1,112,087
その他	45,585	41,901
貸倒引当金	△2,807	-
投資その他の資産合計	1,223,294	1,153,988
固定資産合計	3,539,387	3,552,739
資産合計	7,609,983	6,946,429
負債の部		
流動負債		
買掛金	393,202	397,225
電子記録債務	565,017	350,092
短期借入金	12,699	13,163
1年内返済予定の長期借入金	220,851	219,244
未払法人税等	-	28,052
賞与引当金	86,702	84,885
ポイント引当金	42,933	29,122
資産除去債務	15,972	1,791
その他	636,507	633,642
流動負債合計	1,973,884	1,757,219
固定負債		
長期借入金	769,537	659,915
退職給付に係る負債	337,330	347,546
資産除去債務	293,174	288,714
その他	323,995	337,510
固定負債合計	1,724,038	1,633,686
負債合計	3,697,923	3,390,905

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	3,440,149	3,076,540
自己株式	△15,590	△9,313
株主資本合計	3,931,772	3,574,440
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,665	△5,589
退職給付に係る調整累計額	△14,048	△13,326
その他の包括利益累計額合計	△19,713	△18,916
純資産合計	3,912,059	3,555,524
負債純資産合計	7,609,983	6,946,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	4,400,356	5,909,482
売上原価	1,965,549	2,570,723
売上総利益	2,434,806	3,338,758
販売費及び一般管理費	3,334,082	3,608,609
営業損失(△)	△899,276	△269,850
営業外収益		
受取利息	9	3
仕入割引	2,872	4,360
為替差益	2,890	1,963
助成金収入	166,404	46,522
その他	6,734	3,377
営業外収益合計	178,911	56,226
営業外費用		
支払利息	2,411	2,574
その他	463	730
営業外費用合計	2,875	3,305
経常損失(△)	△723,240	△216,929
特別損失		
固定資産除却損	824	-
賃貸借契約解約損	4,567	5,618
減損損失	298,986	-
特別損失合計	304,378	5,618
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,027,619	△222,547
法人税、住民税及び事業税	8,904	8,957
法人税等還付税額	-	△4,243
法人税等調整額	213,372	-
法人税等合計	222,276	4,713
四半期純損失(△)	△1,249,896	△227,260
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,249,896	△227,260

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純損失(△)	△1,249,896	△227,260
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,736	75
退職給付に係る調整額	-	721
その他の包括利益合計	△3,736	797
四半期包括利益	△1,253,633	△226,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,253,633	△226,463
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,027,619	△222,547
減価償却費	155,092	103,584
のれん償却額	728	-
減損損失	298,986	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,230	△2,217
賞与引当金の増減額(△は減少)	△109,903	△1,817
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,425	△13,872
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,514	10,936
受取利息及び受取配当金	△9	△3
支払利息	2,411	2,574
助成金収入	△166,404	△46,522
固定資産除却損	824	-
売上債権の増減額(△は増加)	181,617	64,127
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,129	△56,450
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,328	△211,226
その他の資産の増減額(△は増加)	36,118	41,025
その他の負債の増減額(△は減少)	△91,490	△27,717
未払消費税等の増減額(△は減少)	△117,283	56,516
小計	△934,068	△303,609
利息及び配当金の受取額	9	3
利息の支払額	△2,906	△2,833
助成金の受取額	166,404	46,522
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	24,605	60,820
営業活動によるキャッシュ・フロー	△745,956	△199,096
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,349	△54,462
有形固定資産の除却による支出	△12,113	△35,108
無形固定資産の取得による支出	△28,120	△26,629
出資金の払込による支出	△30	-
貸付金の回収による収入	125	12
その他の支出	△19,823	△834
その他の収入	13,202	85,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,110	△31,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	175
長期借入れによる収入	1,150,000	-
長期借入金の返済による支出	△114,797	△111,229
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△73,336	△79,942
配当金の支払額	△203,581	△135,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	758,284	△326,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△594	595
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△82,375	△556,495
現金及び現金同等物の期首残高	2,801,415	2,514,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,719,040	1,957,632

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。